とうかいコミュニティ通信

コミュニティ交流会

発行者：東海市総務部市民協働課

「コミュニティ交流会」を開催しました！

●コミュニティを中心とした地域運営体制づくりに向けて、コミュニティや地域で活動している方々が相互交流し、理解を深めるとともに、新たな取組が生まれるきっかけづくりと活動の担い手の発掘の場として開催しました。

【日　　時】令和６年７月 15 日（月･祝）14～16 時
【会　　場】東海市役所 地下大会議室
【参加者】57 名
　（コミュニティ関係者 31 名、市民団体･事業所等 23 名、大学生３名）
【アドバイザー】吉村 輝彦 さん（日本福祉大学学長補佐／国際学部教授）

４つのテーマに分かれグループトーク（意見交換）

●参加者が希望するテーマをもとにグループに分かれ、現状の共有や課題解決に向けた工夫や取組などについて意見交換しました。

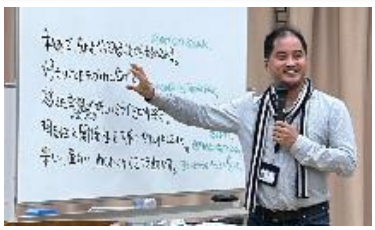
【テーマ】① 地域ぐるみで子どもを育む
② 高齢者の暮らしを支える
③ 若者（中高大学生）の活躍と協力
④ 魅力的・効果的な情報発信

●参加者からは「地域で悩みや課題も異なることを理解できた」、「大学生が参加できることも多いと思う」、「地域のつながりの大切さを実感した」などの意見がありました。

●参加者アンケート（詳細は裏面）では、「今後の活動において地域や団体と協力・連携してみたい」という声が 51%ありました。

●吉村先生からは、東海市出身の江戸時代の儒学者である細井平洲先生の言葉「学思行相須ツ〈がく し こう あい まつ〉」になぞらえ、グループトークの内容について５つのキーワードにまとめてくださいました。

「私(し)」　私発でちょっとやってみることから始めてみる（だれかがやってくれるではなく）
「好(こう)」好きなことをきっかけに広げていく（みんなが同じことを同じだけでなく）
「越(えつ)」超えた発想やネットワークが新しいミライを切り拓く
　（今までのやり方はこれからのやり方とは異なるはず）
「相(あい)」相互性と関係性を大事にやりとりをしていく（専門的知識だけではなく）
「楽(らく)」楽しい、面白い、わくわくが人をつき動かす（正しいだけでは、やらされ感にも）



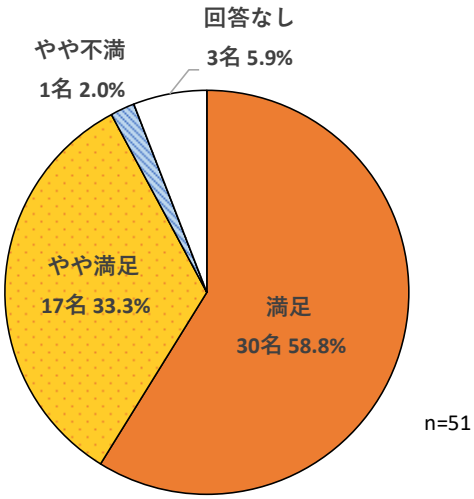
本取組に関するご質問等は下記までお問い合わせ下さい

連 絡 先：東海市市民協働課　　電話：052-603-2211
0562-33-1111（内線 152、156）　　Email chiiki@city.tokai.lg.jp

参加者アンケートのまとめ

Q1 交流会の満足度

●回答者 51 名のうち 58.8%（30 名）が「満足」、33.3%（17 名）が「やや満足」と答えており、約９割の回答者が交流会の内容を評価しています。



■満足度の主な理由

●「テーマ」について地域による違いを知り、良い取り組みも聞けて良かった。
●色々な世代な方の意見や思いを聞けて良かった。
●知らない団体さんとお話しすることができた。
●話し合いの中から、困っていることへの対応案らしきことが浮かびはじめた。

Q2 交流会を通じて、とくに学んだこと、印象に残ったこと

●情報発信は様々な方法がある。（工夫しだいで広がる）
●得意なこと、好きなことをその人に任せることでより楽しく活動が広まっていく。
●運営側が楽しむことが大切。
●コミュニティの活動に市民活動団体の特性を活かして地域活動が活性化していくと良い。
●市内にこれだけ「地域を良くしたい」という方がいるということが印象深かった。
●他の地域でも同様な問題があり、地域共通の問題が多いことがわかった。
●初めてコミュニティ役員以外の人と話すことができた。
●相談できるところがあるとわかった。

Q3 今後の交流会のテーマや内容についての意見や要望

●今回のように色々な方と交流してみたい。
●コミュニティだけでなく、小中高生を加えるなど、立場の違う人の意見を加えることで、コミュニティの参加意識が高まるのではないか。
●同じ悩み（課題）を持つ人で深堀出来る場が必要。
●このような会があったらまた参加して地域の方の話を聞きたい。

Q4　今後の活動において、協力・連携してみたい地域や団体と活動（団体・地域名は省略）

●全コミュニティが市を盛り上げるために垣根を越えるべき。
●小さい子やシニア世代をつなげたい。
●若者との情報交流
●ポジティブで楽しい団体には協力したい。
●子どもや若者を自治活動に巻き込むことができる団体があるといいな。
●すべての団体でまちづくり支援

Q5　今後のコミュニティや地域活動について

●子育て世代が主体になる、子どもたちが楽しめる活動が、地域に若い世代が参加するきっかけになると思うのでそういった活動、イベントが増えると良いと思う。
●地域のつながりが少なくなっていることに危機感があるのでもっと魅力をアピールしたい。
●コミュニティ単位で課題や問題が違うことが多い。経験が異なるので対応したノウハウを知りたい。
●コミュニティ単位で開催してもらいたい。
●定期的にこの様な交流会を開催してほしい。
●各地域の悩みを共有できる場がもっとあれば良いと思った。
●企業との連携を進めたい。

※各回答の内容については、一部抜粋・加工をしています。